

平成23年度事業計画

財団法人 日本医薬情報センター (JAPIC)

平成 23 年度事業計画

I. 平成 23 年度事業計画について

平成 23 年度は第四期中期 3 カ年計画の初年度である。これまで培ってきた事業を継続しつつ、新規事業の創生などさらなる基盤強化に着手する重要な年であり、中期計画の重点目標ごとに優先度を考慮して以下のとおり定めた。

1. JAPIC の現事業の充実・強化

(1) 現有の JAPIC 医薬品情報データベースの計画的システム開発と改修

1) 医薬品情報データベース開発・改修計画の立案と実行

- ・各種データベース（禁忌、用法用量、相互作用等）について、従来の運用システムを見直し、より効率的メンテナンスが可能なシステムの開発を行う。3 カ年計画で進め、禁忌データベースを初年度システム構築対象とした。
- ・e-Infostream の改修計画については、日本電子計算株式会社（JIP）と協議の上進める。

2) JAPIC 内共通辞書の作成

現状では、添付文書情報部門、医薬文献情報部門それぞれ個別に構築した辞書を用いている。業務効率化のために、JAPIC 内辞書の共通化を図る。平成 23 年度内完成を目標とした。

3) iyakuSearch 等の利便性向上

iyakuSearch の利便性を高め、JAPIC の知名度向上とユーザの更なる利用拡大を図る。ユーザの要望等に応じ随時改良を加える。

(2) 受託事業の充実・協業の検討

1) 受託事業の探索と実行

平成 23 年度には、文献代行検索を含め受託事業の更なる可能性を探る。

2) 他業種との協業の探索と実行

協業の可能性について検討する。協業・提携時の JAPIC の基本方針を定め、ユーザの期待に応えられる企画については、実現化を積極的に推進する。

(3) 現事業の強化

現在継続しているすべての事業について、更なる付加価値の検討・サービス内容の充

実を図る。平成 23 年度は次の 3 事業を重点目標と位置づけた。

1) JAPIC AERS サービスの充実・強化

- ・商品内容や説明の利便性を図るためビューア機能を整備する
- ・「副作用が疑われる症例」（医薬品医療機器総合機構の公開 DB）、「VAERS」（FDA で公開しているワクチンに関する副作用自発報告の DB）のデータを現有の JAPIC AERS のシステム環境で稼働できる体制整備を行う。

2) JAPIC-Q サービスの充実

- ・海外情報の提供
海外情報についても充実を図る。
- ・JAPIC-QX サービスの強化
個別依頼業務への対応をさらに強化する。

3) JDM 関連事業の充実・強化

- ・各国規制関連情報の採択サイト拡充の検討
JDM ユーザの要望に対応し、平成 23 年度内に新たな規制当局サイトからの情報提供を実現する。

2. 新規事業の創生

平成 23 年度は、新規事業を創生するための仕組み作り、および 3 つの新規事業開発施策を設定した。

(1) 提案制度の整備・活性化

平成 23 年度は、JAPIC 内からの積極提案が常時行われる環境の実現と提案から事業展開までの仕組みを構築する。提案内容を評価し、付加価値創造および事業化を推進する。

(2) 文献情報提供内容の拡充

1) 医療機器情報の提供（国内外）

国内文献部門では、平成 23 年度末までに試験的サービス開始を実現する。

海外情報部門では、平成 24 年 4 月のサービス開始を念頭に実現化策を検討する。

2) JDM-AERS サービス提供計画の立案

新規に、JDM における規制当局からの情報に加え、参考資料として JAPIC AERS からの情報の付加の実現性を検討する。平成 23 年度は、サービス概要を決定する。

3) 新規媒体によるサービスの開発

各種スマートフォン等新規媒体を活用した医薬品情報の提供の事業性を探り、有益なサービス開発を時流に後れることなく実現したい。平成 23 年度には、iPad 用アプリケーションソフトウェアのリリースを計画している。

3. 普及・広報活動の推進

普及・広報活動をこれまで以上により計画的に行うために、毎年度活動計画を作成する。さらに、年度毎に計画と実践の結果を評価し、次年度の計画の実効性向上を図る。

平成 23 年度の強化策は以下の通りである。

(1) 販促体制の強化

年度初めに販促体制および活動方針を作成する。

(2) 販促戦略の設定

平成 23 年度の重点商品および達成目標を以下のように定めた。

- 1) 病名・禁忌・相互作用・用法用量データの総販売量を前年比 10%増達成
- 2) JAPIC AERS の顧客数 6 社達成
- 3) 重篤副作用疾患別対応マニュアルの販売数 前年度比 10%増達成
- 4) JAPIC-Q 受託及び代行検索ユーザ獲得 5 社達成
- 5) JAPIC-QX のユーザ獲得 3 社達成

(3) 広報活動の強化

効果的な広報活動の実施のために年間計画を作成し、進捗率および業績への貢献度を評価する。平成 23 年度の広報活動としては以下のものが含まれる。

- 1) ダイレクトメール、学会展示・発表、パンフレット、広告 等
- 2) 薬学部・医学部への構造式集、医薬品集非インストール版 CD-ROM 配布等
- 3) 会員（企業、医療機関）訪問、特に JAPIC-Q サービス関連訪問を強化

4. 事業の見直し

(1) 廃止等事業の見直し

1) 医療用医薬品集更新情報（シール）

現在、医薬品集（書籍）の情報更新時対応として、年 10 回更新情報（シール形式）のメール配信とともに書籍への張り込み用シールを印刷・提供している。

医療用医薬品集 2012 年版から更新情報シールの印刷・提供サービスを廃止する。

2) JAPIC ジャーナル作成の可否検討

JAPIC ジャーナルについては、発刊継続の可否を平成 23 年度内に決定する。

(2) 業務効率化：業務の平準化、機械化等の推進（常時）

ルーチン化した業務は、要員・時間・コストの最適化を計る。現在も業務内容の見直しを常時行っているが、最適化を図る業務を特定し、より積極的に平準化、機械化および外注化を推進する。

(3) コスト削減

現状においても職員のコスト意識の周知に努めているが、見直し対象を具体化して更なるコスト削減に努める。今年度の対象は四半期毎作成の医薬品集 CD-ROM データのコストで、前年度比-10%削減を実現する。

5. 運営基盤の強化、

(1) 人材マネジメントの遂行

平成 23 年度の目標は、①教育の充実と②年度毎の人材育成計画・要員計画の作成・運用である。従来以上に事業内容の充実・顧客満足度の向上を図るために、教育を体系化し、内部及び外部研修の充実を図る。また、教育研修費用支援制度の活用を促進する。

(2) 会員の維持・確保、長期的財政の安定化

平成 23 年度は以下の重点施策を設定、積極的に推進し、財政の安定化を図る。

1) サービス価格の適正化

新規開発も含め、競合他社等外部環境変化、ユーザの利用状況などを考慮し、サービス内容・価格の再整備を行う

2) 収支バランスの維持・確保

収入支出を適切に行い、長期的財政の安定化へ取り組む

3) 会員（企業、医療機関）訪問強化

ユーザ維持・確保、新規サービス市場の拡大のために会員訪問を強化する

II. 事業一覧

(1) 出版

医療用医薬品集 (CD-ROM 付)、医療用医薬品集 普及新版、一般用医薬品集、薬剤識別コード一覧、添付文書記載病名集、病名適応医薬品集、日本の医薬品 構造式集、漢方医薬品集、日本の新薬、重篤副作用疾患別対応マニュアル、医薬品製造承認品目一覧、成分から調べる医薬品副作用報告一覧、JAPIC Pharma Report 海外医薬情報、JAPIC J (ジャピックジャーナル)、JAPIC NEWS、JAPIC Guide

(2) データベース他電子情報での公開

1) 医薬品情報データベース iyakuSearch、iyakuSearch Plus

2) 医薬品情報ナビ

3) 医薬品類似名称検索

4) 海外安全性情報速報 —JAPIC Pharma Report 海外医薬情報 (速報) —

5) 図書館の蔵書検索・新着案内

6) 外部機関から提供の Web 版データベース

JAPICDOC 速報版 (医薬文献情報速報版)、JAPICDOC (医薬文献情報)、SOCIE (学会演題情報)、ADVISE (副作用文献情報)、NewPINS (添付文書情報)、SHOUNIN (承認品目情報)、MMPLAN (学会開催予定情報)

(3) JAPIC データの提供・販売

1) JAPIC 辞書データ

2) 添付文書 (医療用、一般用) データ、医薬品名称データ、医薬品と対応病名データ、相互作用データ、用法用量データ、禁忌データ、剤形写真データ、承認品目全データ

3) 医薬品と対応標準病名検索システム (病名ナビ)

4) JAPIC PIA

5) JAPIC AERS データ

6) JAPICDOC CD-ROM データ

(4) 配信・配送サービス

1) JAPIC Daily Mail、JAPIC Daily Mail Extra、JAPIC Daily Mail Plus、JAPIC Weekly News サービス、Regulation View Web サービス、PubMed 代行検索 (生物由来製品関連)

2) JAPIC-Q サービス、JAPIC-Q Plus サービス、JAPIC-QX (JAPIC-Q Extra) サービス、JAPIC-Q 海外情報サービス

(5) 受託サービス

1) 検索サービス

① 医薬品類似名称検索サービス

2) 複写サービス

3) 各種調査・情報収集

(6) 講演会・シンポジウム等の開催

薬事研究会、JAPIC 講演会、JAPIC 医薬情報講座